



2020年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月8日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド
 コード番号 9720 URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 原 信造

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	1,536	38.7	429		397		747	
2019年11月期第2四半期	2,504	1.8	73		77		80	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	634.51	
2019年11月期第2四半期	68.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期第2四半期	7,635	2,218	29.1	1,882.10
2019年11月期	8,259	2,925	35.4	2,487.41

(参考)自己資本 2020年11月期第2四半期 2,218百万円 2019年11月期 2,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期		0.00		0.00	0.00
2020年11月期		0.00			
2020年11月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年11月期2Q	1,179,199 株	2019年11月期	1,176,334 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2020年11月期2Q	235 株	2019年11月期	235 株
-------------	-------	-----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年11月期2Q	1,177,327 株	2019年11月期2Q	1,174,525 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年12月1日～2020年5月31日)におけるわが国の経済は、消費税引き上げ後、景気は後退局面に入っておりますが、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあるものと判断されてきました。しかしながら、新型コロナウイルスが世界規模で感染拡大しており、いまだ収束の兆しが見えないなか、景気減速への警戒感から先行きは未だ不透明な状況が続いております。

当社におきましては、2020年4月7日に日本政府より発令された緊急事態宣言を受け、2020年4月8日よりレストランの一部営業休止及びご提供メニュー・営業時間の変更を、支店である高島屋横浜店 ルグラン、そごう横浜店 バー シーガーディアンⅢの営業を一時休業しておりました。また2020年4月29日から5月31日までの間、ホテル全館の営業を一時休業しておりました。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、1,536,185千円(前年同四半期比38.7%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、1,503,734千円(前年同四半期比17.1%減)となりました。営業損失は429,636千円(前年同四半期は73,175千円の営業損失)、経常損失は397,985千円(前年同四半期は77,246千円の経常損失)となりました。

また、当第2四半期累計期間の四半期純損失は747,025千円(前年同四半期は80,042千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,508,879千円(前年同四半期比39.1%減)、営業損失448,049千円(前年同四半期は92,734千円の営業損失)となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門415,478千円(前年同四半期比37.4%減)、レストラン部門427,725千円(前年同四半期比40.0%減)、宴会部門550,060千円(前年同四半期比39.7%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高27,306千円(前年同四半期比4.6%減)、営業利益18,413千円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は7,635,192千円(前事業年度末比624,617千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金24,839千円の増加や売掛金305,062千円の減少、有形固定資産354,631千円の減少などであり、

(負債)

負債合計は5,416,260千円(前事業年度末比81,886千円増)となりました。

主な要因は買掛金331,729千円の減少や短期借入金750,000千円の増加、未払費用132,262千円の減少、未払消費税等70,649千円の減少、前受金81,374千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は2,218,931千円(前事業年度末比706,504千円減)となりました。

主な要因は四半期純損失747,025千円や、その他有価証券評価差額金の増加32,427千円などです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ24,839千円増加し、406,215千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は646,013千円（前年同四半期は165,873千円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純損失745,801千円、仕入債務の減少額331,729千円、営業債権の減少額305,062千円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は77,546千円（前年同四半期は127,891千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出65,314千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は748,400千円（前年同四半期は135,669千円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額750,000千円などによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年7月7日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,375	406,215
売掛金	324,936	19,873
原材料及び貯蔵品	104,510	108,265
未収消費税等	-	8,039
その他	35,256	34,763
貸倒引当金	△90	-
流動資産合計	845,988	577,157
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,809,277	7,690,756
減価償却累計額	△4,611,102	△4,666,536
建物(純額)	3,198,174	3,024,219
建物附属設備	5,723,696	5,676,636
減価償却累計額	△4,589,888	△4,649,335
建物附属設備(純額)	1,133,807	1,027,300
土地	2,553,615	2,553,615
その他	1,970,845	1,966,740
減価償却累計額	△1,674,068	△1,717,680
その他(純額)	296,777	249,060
建設仮勘定	26,452	-
有形固定資産合計	7,208,827	6,854,196
無形固定資産	48,866	58,303
投資その他の資産	156,126	145,535
固定資産合計	7,413,821	7,058,035
資産合計	8,259,809	7,635,192
負債の部		
流動負債		
買掛金	359,456	27,727
短期借入金	900,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	445,000	445,000
未払費用	315,623	183,361
未払法人税等	15,105	7,187
未払消費税等	70,649	-
未払事業所税	15,789	7,574
前受金	190,075	108,700
引当金	5,453	5,366
その他	135,614	92,463
流動負債合計	2,452,767	2,527,381
固定負債		
長期借入金	1,195,000	1,195,000
長期末払金	24,400	24,100
再評価に係る繰延税金負債	503,998	503,998
退職給付引当金	865,282	879,447
長期預り保証金	281,508	276,508
その他	11,416	9,823
固定負債合計	2,881,606	2,888,878
負債合計	5,334,373	5,416,260

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,581	2,011,878
資本剰余金	301,534	260,796
利益剰余金	△44,534	△747,025
自己株式	△714	△714
株主資本合計	2,263,866	1,524,934
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△32,427	-
土地再評価差額金	693,996	693,996
評価・換算差額等合計	661,569	693,996
純資産合計	2,925,435	2,218,931
負債純資産合計	8,259,809	7,635,192

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	2,504,616	1,536,185
売上原価	763,894	462,087
売上総利益	1,740,721	1,074,097
販売費及び一般管理費	1,813,897	1,503,734
営業損失(△)	△73,175	△429,636
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,711	1,710
還付加算金	367	-
受取保険金	-	36,554
その他	334	76
営業外収益合計	2,413	38,342
営業外費用		
支払利息	6,204	6,626
その他	278	66
営業外費用合計	6,483	6,692
経常損失(△)	△77,246	△397,985
特別損失		
固定資産除却損	3,194	-
減損損失	-	※1 200,748
投資有価証券評価損	-	41,811
臨時休業による損失	-	※2 105,255
特別損失合計	3,194	347,815
税引前四半期純損失(△)	△80,440	△745,801
法人税、住民税及び事業税	△398	1,223
法人税等合計	△398	1,223
四半期純損失(△)	△80,042	△747,025

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△80,440	△745,801
減価償却費	166,024	134,898
固定資産除却損	3,194	-
減損損失	-	200,748
投資有価証券評価損益(△は益)	-	41,811
臨時休業による損失	-	105,255
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29,260	14,165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	40	△90
受取利息及び受取配当金	△1,711	△1,710
支払利息	6,204	6,626
受取保険金	-	△36,555
営業債権の増減額(△は増加)	△41,020	305,062
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,238	△3,755
未収消費税等の増減額(△は増加)	29,861	△8,039
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,163	△331,729
未払費用の増減額(△は減少)	62,767	△166,390
前受金の増減額(△は減少)	30,814	△81,374
未払金の増減額(△は減少)	△13,194	23,354
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,250	△70,649
その他	△16,634	△19,057
小計	150,015	△633,230
利息及び配当金の受取額	1,711	1,710
利息の支払額	△1,627	△3,668
保険金の受取額	-	36,555
臨時休業による損失の支払額	-	△44,933
法人税等の支払額	△182	△2,447
法人税等の還付額	15,956	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,873	△646,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127,891	△65,314
無形固定資産の取得による支出	-	△12,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,891	△77,546
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△135,000	750,000
自己株式の取得による支出	△428	-
配当金の支払額	△21	-
その他	△219	△1,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,669	748,400
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△97,687	24,839
現金及び現金同等物の期首残高	424,268	381,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	326,580	406,215

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令や活動自粛要請などが、経済や企業活動に影響を与えており、一部営業休止やホテル全館の営業を一時休業いたしました。緊急事態宣言は全面解除されましたが、引き続き一時的な需要低下が予測され、当社は、翌四半期以降、徐々に持ち直し2021年度下期以降に収束に向かうと仮定して会計上の見積り(固定資産の減損損失の検討、継続企業の前提に係る資金繰りの検討等)を実施しております。

これにより、当四半期会計期間において、減損損失200,748千円を計上しております。

なお、当該見積りは現時点での最善の見積りであるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であることから、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合、上記の見積りの結果に影響し、翌四半期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

※1 減損損失

当四半期において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類
横浜市中区	ホテル事業	建物、建物附属設備、工具、器具及び備品、建設仮勘定等

当社は、原則として、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っており、重要な処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

営業活動から生じる損益が継続してマイナスであることから、帳簿価額を全額回収できる可能性が低いと判断した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(200,748千円)として特別損失に計上しました。その内訳は、建物118,520千円、建物附属設備47,059千円、工具、器具及び備品8,714千円、建設仮勘定26,452千円であります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価基準に基づく、鑑定評価額を使用しております。

※2 臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、お客様と従業員の安心・安全確保の観点から4月29日から5月31日までの間、ホテル全館の営業を休業いたしました。

このため、休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費など)105,255千円を臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,475,986	28,630	2,504,616	-	2,504,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,475,986	28,630	2,504,616	-	2,504,616
セグメント利益又は損失(△)	△92,734	19,559	△73,175	-	△73,175

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,508,879	27,306	1,536,185	-	1,536,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,508,879	27,306	1,536,185	-	1,536,185
セグメント利益又は損失(△)	△448,049	18,413	△429,636	-	△429,636

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	200,748	-	200,748	-	200,748